

Kasai Sakura

笠井さくらさん

Work

- 長崎ヴェルカ チアダンスチームのマネージャー
- 不動産・建築業の事務

Area アメリカ ▶▶▶ 長崎市



仕事人間だったからこそ  
自然に囲まれた  
今の暮らしが幸せ。



長崎ヴェルカの子アダンスチームと共に。メンバーとの絆を大切に、日々コミュニケーションを取りながら、仕事を進めている。

マネージャー

Work

Work

コロナ禍をきっかけに、アメリカ・ロサンゼルスから地元長崎に戻ってきた笠井さくらさんが暮らすのは、長崎市の東長崎エリア。

リノベーション中だというご自宅を訪ねると、和の外観からは想像もつかない、アンティーク家具が映える素敵な洋室に案内された。聞けば、築五十年の一軒家を大好きな南山手の洋館の雰囲気で大変身させたという。実はさくらさんは結婚したばかり。リノベーションも、夫の慎太郎さんと二人三脚で進行中だそうで、二人は長崎での暮らしがとても楽しいと話す。

アメリカでは、スポーツコート、デイネットの仕事に携わり、多忙な日々を送っていたさくらさん。日本のチアダンスチームやバスケットチームがアメリカで合宿する際の手配を行うなど、アメリカ中を飛び回っていた。さくらさんとの結婚を機に千葉から長崎へ移住した慎太郎さんも同様に、以前は仕事人間だったという。

そんな二人は今、庭の菜園で野菜を育て、近所の人とのおしゃべりを楽しみつづ、仕事はオンラインで...という穏やかな日々を過ごしている。「自然がそばにある、それだけで生きる活力になりますよね」とさくらさんが言えば、「時々、仕事で東京へ行っても、早く長崎に帰

Enjoy

リノベーション



2人で暮らす家を自分たちで少しずつリノベーション。こうした時間も楽しい！



Enjoy

家庭菜園

庭の菜園にて。「朝採りの野菜で朝食なんて、幸せです。長崎で人間らしい暮らしを手に入れました！」とさくらさん。

Work

自宅で打ち合わせ

仕事の中心はオンラインで。窓から見える風景もお気に入り。

りたいと思うようになりまし  
た」と慎太郎さんも、すっかり  
今の暮らしに満足している様子。  
現在、さくらさんは二つの仕  
事をしている。一つは父親が経  
営している不動産業と建  
築業の事務。そしてもう  
一つは、長崎に誕生した  
ばかりのプロバスケット  
ボールクラブ・長崎ヴェ  
ルカのチアダンスチーム  
のマネージャーだ。「家業  
の方はいづれ後を継ぐつ  
もりで、今は建築の勉強  
中です。リノベーション  
を経験したことで、この

仕事をもっと極めたいと思うよ  
うになりました。またチアダン  
スチームのマネージャーという  
仕事は、アメリカでのスキルを  
活かせると思い、自分から飛び  
込みました。長崎に新たなエン  
ターテインメント文化を作りた  
いですね」。

今後は新たなチャレンジもし  
たいと話す二人。「これからは  
仕事とプライベートを融合して  
もいい時代。プライベートの楽  
しい遊びをビジネスにつなげ  
て、長崎に大人の遊び場を作り  
たいですね」。夫婦の夢は広  
がってゆく。

休日は島原方面や離島に  
出掛けるなどしています。  
長崎で、自然の中で遊ぶ  
楽しさを知りました！

